

平成17年度事業報告書

(平成17年9月1日から平成18年8月31日まで)

特定非営利活動法人フードバンク関西

(1) 事業活動の状況

フードバンク関西は、平成15年2月から約1年間の準備期間を経て、平成16年1月20日兵庫県知事の認証を得、同月26日特定非営利活動法人格を取得し、法人として活動を開始しました。去る平成18年8月31日をもって第3期会計年度を終了する事が出来ました。

当法人は、食品関連企業等から余剰食品を回収し、社会福祉施設や生活困窮者の自立を支援する非営利福祉団体にこれら回収食品を無償提供する事により、これら非営利福祉団体を支援することを事業目的として、尼崎市と芦屋市に倉庫兼事務所を構え、阪神地区で事業を展開しております。

この活動を通して、食べ物として美味しく栄養もあり安全な余剰食品の有効活用を図ると共に、生活弱者を支える非営利福祉団体を支援することにより、互いに助け合い、より多くの方がより豊かな生活を楽しむことができる社会の実現に寄与したいと考えています。

当期、私達は、取り扱い余剰食品の多様化と量の増加のために、法人設立時に設置した尼崎市南清水の事務所兼倉庫1ヶ所では、食品の一時保管と福祉団体へのデリバリー活動が効率よく行えない状況に対応するため、二つ目の事務所兼倉庫の開設を計画し、11月末にファイザー株式会社の社会貢献活動「ファイザープログラム-心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援」より、200万円の助成金を得る事が出来た事で財政的な後援を得、本年度、新事務所の開設を実現することが出来ました。

即ち2006年1月、芦屋市呉川町に木造一戸建て家屋の1階部分を賃借し、屋内を事務所兼談話室用に整備し、2月にはその駐車場部分の一部にプレハブ式の大容量冷蔵設備を設置しました。談話室の活用を図る一環として、4月には厨房設備を整備し、土曜日だけの喫茶事業を5月から開始しました。また、車椅子搬送機能を備えた中古の軽自動車も、当面は食品運搬用、そして将来は障害者やご老人を搬送する事も視野に入れて購入しました。

これにより、週2回、水、土曜日に六甲アイランド、ポートアイランドの物流倉庫から引き取る半解凍状態の鶏肉加工済食品を、芦屋事務所の冷蔵設備に入れてチルド状態で保管し、週一度木曜日に大阪西成のホームレスシェルターに品質を維持したまま、まとめて搬送する事が可能になると共に、量の増加が著しいコストコホールセール尼崎からの引き取り余剰食品も、尼崎と芦屋の事務所に分散させて一時保管する事が可能になりました。

余剰食品を無償提供してくださる事業所は、企業5社とNPO法人1団体となりました。本年度に新たに食品提供者となったNPO法人セカンドハーベストジャパンは、フードバンク活動を東京中心に行っているボランティア団体です。今年7月に3回、この団体が食品メーカーから大量に提供を受けた食品の一部として、缶スープ等合計8トンの食品の無償提供を受けました。

本年度1年間でフードバンク関西が取り扱った余剰食品の総量は60.8トンになり、量の増加が顕著でした。また、これらを食べ物として有効に活用して下さる非営利福祉団体の数も17団体から22団体に増加し、週当たり延受益者数も3500人を越え、前年度より約千人増加していると考えられます。

私達の広報誌、「フードバンク関西ニュース」は、会員への活動報告と関西地域に事業所を構える食品関連企業への協働の呼びかけを目的に、年に数回発行しています。2月と7月に発行した第8号、第9号に掲載した余剰食品の無償提供のお願いと有効活用の呼び掛けに、マックスバリュ西日本(株)が応えて下さり、平成18年度から毎月定期的に、同社130店舗で販売期限を超えた米を、毎月無償提供して下さることになっております。

これにより、私達を取り扱う食品は、米、パン、野菜果物、鶏肉加工済食品、スパゲッティ、菓子類と、私達日本人の食べ物として大切な種類をほぼ網羅し、それら食品を受け取り、活用して下さる団体にとっても、フードバンク関西からの支援は欠く事の出来ないものと成り得ていると確信しています。

2004年3月から大型商業施設との協働で開始した作業所生産品バザー「来て、見て、買ってね!」は、2ヶ月に一度の頻度で、平均8~10ヶ所程度の身障者通所作業所の参加を得て、定例的に開催し続けており、今年7月に第15回目のバザーを無事終了しました。今後も2ヶ月に一度の頻度で継続していきます。このバザーは身障者通所作業所の手作り製品を、一般購買者に販売する貴重な機会となっており、それが定例的に開催される意義は大きいと考えます。

私達の事業は、平成17年度「NPOと企業の協働奨励事業」として、兵庫県社会福祉協議会から他の4団体と共に奨励賞を受ける事になり、3月西宮市で表彰式があり、表彰状と共に奨励金を戴く事ができました。

また、ジョンソンエンドジョンソン株式会社の社会貢献委員会からは、本年度もまた活動費の支援を受ける事が出来ました。この支援は当法人初年度からずっと続いており、私達の活動の大きな支えになっています。

毎日地道に作業に携わっている私達ボランティアにとって、皆様からこのような形で評価を受ける事は何よりの励ましとなっています。

今後とも正会員、賛助会員並びに余剰食品を提供して下さる企業の方々を含め、ご関係の皆様方には一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

(2) 当法人の概況

- 1 設立 平成16年1月26日
- 2 主たる事務所 兵庫県尼崎市南清水37番14号
従たる事務所 兵庫県芦屋市呉川町1番15号
- 3 役員
理事長 藤田 治
理事 山本 茂
理事 浅葉 めぐみ
理事 土谷 好子
監事 長尾 紋直
- 4 正会員 15名

以上